

# 鹽竈十福

しおがまさま

第 203 号



午のひづめが幸運を運ぶ  
うまくいく御守





# 頌 春

志波彦神社  
鹽竈神社

宮 司 大瀧 博司

皇紀二六八六年 令和八年  
丙午歳の年頭にあたり竹の園  
生の弥栄と御国の御安泰を祈  
念致し謹んで新年の挨拶を申  
し上げます。

昨年中は御両社例祭を始め  
とする各種祭典等、氏子崇敬  
者皆様方の御協力により盛大  
に斎行できましたこと心から  
感謝申し上げます。

また名誉宮司・宮司就任に  
つきましても大神様の御加護

のもと責任役員総代を始めと  
致します関係各位のご理解と  
格別のご高配を賜り、奉告祭  
を始め引継ぎ式に至るまで諸  
行事滞りなく終えることがで  
きました事に改めて厚く御礼  
申し上げます。

さて昨年中は、干ばつによ  
る大船渡市山林火災に始まり、  
夏には記録的な高温、一方で  
は短時間集中豪雨による大規  
模水害等が発生する等、過酷

な気象条件は、私たちの日常  
生活にも大きな爪痕を残しま  
した。そしてお米をはじめと  
する農作物への影響、熊まで  
がエサ不足により人里に現れ  
大きな社会的問題に発展しま  
した。また、海においては海  
水温の上昇に伴うマグロを始  
めとする回遊魚の漁獲の減少、  
魚種の変化に伴う水揚げへの  
影響は甚大で、当地を支える  
主産業である漁業にも深刻な  
影響を与えました。この様に  
自然界では、バランスがいかに  
大切であるかを思い知らさ  
れた一年でもありました。

我々日本人は、自然は単な  
る資源ではなく、守るべき神  
宿る聖域であり畏敬の対象と  
して向き合ってきた歴史があ

ります。  
しかし広く世界に目を向け  
ますと人間が自然界を支配し、  
またことごとく利用する、所  
謂「欧米型の人間中心主義」  
に特化してしまつたように感  
じます。

今こそ我が国が育んできた  
神道の自然観を世界に発信し、  
自然への負荷はいずれ人間界  
のリスクと化す事を多くの人  
が認識し自然との共生に舵を  
取らなければならぬものと  
考えます。

今年こそ災害のない平和な  
年となり、大神様の御加護の  
もと皆様方にとりましても「何  
事もうまくいく」幸多い年と  
なりますこと祈念申し上げ挨  
拶いたします。

# 年頭の御挨拶

志波彦神社  
鹽竈神社 責任役員

節分祭世話人会 副会長

佐藤 仁一郎



新年明けましておめでとう  
ございます。輝かしい新しい  
年を迎えられました事、お祝  
い申し上げます。昨年ご縁を  
いただき責任役員を拝命致し

ました。大変、身の引き締ま  
る思いであります。神社様の

祭典や行事に尚一層、専心努  
力務めてまいります。皆様の  
ご支援を賜りますよう宜しく  
お願い申し上げます。

今年は二月ミラノ冬季オリ  
ンピック、三月WBC世界野  
球大会、七月サッカーワール

ドカップと名だたる世界大会  
が開催される年であります。  
スポーツ選手の大活躍を期待  
し、熱い声援を盛大に送りま  
しょう。世界平和にスポーツ  
が果たす役割を大きく期待し  
ております。

私、鹽竈神社節分祭世話人  
を長年務めております。今年  
も二月一日と三日恒例の節分  
祭追儺式を斎行致します。節  
分祭世話人会・佐藤一臣会長

のもと、世話人会一同斎行に  
向けて協議を重ね、準備を進  
めております。毎年、年男年

女参加者の募集や、企業様よ  
り当選景品のご協力を頂いて  
おります。皆様の多大なご支  
援・ご協力で節分祭世話人会  
一同感謝を申し上げます。し  
おがまさま、の節分祭追儺式、  
今年も盛大に斎行致しますの  
で多くの皆様、福と福豆を拾  
いにご来社下さい。お待ち申  
し上げます。

本年も志波彦神社様・鹽竈  
神社様からの御神徳と皆様  
のご健勝を心からご祈念申し  
上げまして新年のご挨拶とさ  
せていただきます。

謹みて新年の  
ご祝詞を申し上げます

令和八年丙午 元旦

志波彦神社  
鹽竈神社

代表役員  
宮 司

大瀧 博司

責任役員

阿部勘九郎  
佐浦 弘一  
渡會 邦彦  
阿部 仁  
佐藤仁一郎

総 代

和田 忠  
志賀 重信  
水野 暢大  
鈴木 健史  
桑原 茂  
志賀 直哉  
津田 武彦  
菅原 宏和  
小泉 幸彌  
勝又 幸實  
下山 雄司  
土井 儀憲  
阿部 善久  
横田 善光  
内形 繁夫  
千田 忠一  
鈴木 信弘  
鈴木 整

# 夢と希望に満ちた一年に



塩釜商工会議所 会頭  
志波彦神社 総代  
塩竈神社

## 水野 暢大

新春を迎え、地域の皆様におかれましては、清々しき令和八年の新春をお健やかに迎えにられましたこと、謹んでお慶び申し上げます。

平素より、塩釜商工会議所の諸事業に対し賜りました格別のご高配に、深甚なる謝意を表します。また、志波彦神社・塩竈神社の御神威のもと、地

域が安寧裡にその歩みを進め得ましたことは、ひとえに皆様のご尽力の賜であり、ここに改めて衷心より御礼申し上げます。

さて、わが地域経済を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化・物価高騰など、幾重にも困難が折り重なる厳しい局面にございます。しかしな

がら、まさに斯かる時代にあつてこそ、私たちは旧来の枠に囚われることなく、新機軸を打ち立て、未来への道を力強く拓いていかねばなりません。

当商工会議所は、時代の趨勢を的確に捉え、会員事業所の皆様への支援をより一層多角的かつ実効性あるものへと深化させ、地域経済の持続的発展に資するべく、不断の研究と挑戦を積み重ねてまいり所存です。

塩竈には、悠久の歴史と伝統に培われた文化、豊かな海の恵みを基盤とする水産業、そして港湾・観光といった他に比類なき地域資源が息づいております。これらの尊き財産

を、現代にふさわしい形で再価値化し、地域活性化の源泉へと昇華させることこそ、私たちに課せられた重要な使命であります。

行政をはじめ関係各位と緊密に連携し、叡智を結集して取り組むならば、必ずや現下の難局を乗り越え、新たな発展の道筋を見出せるものと確信しております。

結びに、志波彦神社・塩竈神社の大神様の御加護が遍く行き渡り、会員企業ならびに地域の皆様にとり、本年が希望に満ちた豊穡の一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

敬神婦人講 議長 宇仁 一美  
副議長 佐々木良子  
今野紀美子  
千賀 寿子



塩釜警察署 署長

## 年頭の御挨拶

## 北浦 智之

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられましたことを衷心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は志波彦神社・塩竈神社の諸祭事における警察活動はもとより、警察行政の各般にわたり、格別なる御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年三月に第九十七代署長として着任し、着任間もない三月二十九日に執り行われた志波彦神社例祭では、清浄な神域で斎行される神聖かつ厳肅な儀式に参列し、身の引き締まる思いがしたほか、神苑の彼方に見える千賀ノ浦を一望した時、この地で勤務できますことに崇高な誇りと使命感を新たに致しました。

また、昨年の氏子三祭の神輿警備では、多数の観客が訪れ、大変な賑わいを見せました。一連の行事が荘厳かつ厳肅な雰囲気の中滞りなく進行致しましたことは、関係各位はもとより、地域の皆様の日頃からの深い御理解・御協力と信仰の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、昨年の治安情勢については、当署管内において犯罪の抑止等の警察署活動を推進した結果、治安維持に関して一定の成果を上げることができたと考えているところではあります。一方で依然として高齢者を狙った特殊詐欺や子供・女性に対する犯罪が

発生するなど予断を許さない状況にあります。また、匿名・流動型犯罪グループ、通称「トクリユウ」による事件も増加傾向にあり、県警察としても対策を重点項目として掲げており、厳正に対処していく方針です。

最後に塩釜警察署では、安全・安心な地域社会を実現するため、署員一丸となって治安維持に取り組んで参る所存でありますので、引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。志波彦様・鹽竈様の御加護のもと、皆様

- 氏子崇敬会  
会長 桑原 茂  
副会長 水野 暢大  
" 佐藤 良明  
" 小林 克己  
" 菅原 宏和  
" 引地 利男

- 祭典委員会  
委員長 内形 繁夫  
副委員長 齋藤 善彌  
" 志賀 重信  
" 鈴木 金善  
" 菅原 宏和

- 敬神婦人講  
議長 宇仁 一美  
副議長 佐々木良子  
今野紀美子  
千賀 寿子

- 氏子青年会  
会長 戸羽 宏明  
副会長 沼倉 安志  
" 小林 史人  
" 鈴木 整

- 節分祭年男女世話人会  
会長 佐藤 一臣  
副会長 佐藤 仁一郎

- 御神田奉斎会  
会長 阿部 仁

- 鹽竈神社博物館審議委員会  
審議委員 濱田 直嗣  
" 太田 興八郎

## 第七十八回

### 奉献乾海苔品評会

本年も当社を会場に「奉献乾海苔品評会」が開催されます。

第七十八回となる今回は、一月六日（火）に審査を行い、十帖一東三二〇g以上の乾海苔を一点として厳選のうえ受賞者を決定。十一日（日）午前十一時から御神前において漁業協同組合など関係者参列のもと奉献感謝祭が斎行されます。

出品された乾海苔は当日祭務所に展示されます。ぜひ、香り豊かな宮城県産乾海苔「みちのく寒流のり」を五感で感じてください。



## 松明祭（どんと祭）

一月十四日

旧年の神符・守札や松飾りなどを御神火に納め、一年お護りいただいた感謝と今年一年の無病息災を祈る松明祭（どんと祭）を一月十四日（水）に斎行します。

当日午後三時に神社第二駐車場において神事を行い、忌火をもって古神符に火を灯し、翌日早曉までお焚き上げが行われます。



## 節分祭追儺式

毎年恒例の「しおがまさまの豆撒き」節分祭。本年は二月一日（日）、三日（火）両日ともに、午後三時より左右宮拝殿において追儺式を斎行します。

祭典に引き続き、袴姿で参列した年男・年女等が「福は内、鬼は外」の掛け声とともに福豆を撒き、招福と厄災の消除を祈願いたします。節分祭追儺式への参加申込みは、次の世話人方へお申し込み下さい。奉仕者には毎年特製の記念品を御用意しております。

### 節分祭年男女世話人会

（市外局番〇二二）

- ・佐藤 一臣  
南町 株漢方の塩籠芍薬堂  
（三六二）七八八〇
- ・佐藤 仁一郎  
南町 株ごんきや  
（三六七）七七七七
- ・佐藤 武久  
南町 株菅原園茶舗  
（三六二）〇〇二八
- ・郷家 照夫  
南町 郷家第三歯科医院  
（三六二）四五七一
- ・松本 喜八郎  
旭町 株松本左官工業  
（三六二）三三七五
- ・菅原 周二  
桜ヶ丘 株白寿殿  
（三六六）四一四一
- ・大友 義雄  
桜ヶ丘 株白寿殿  
（三六六）四一四一
- ・高瀬 恭平  
尾島町 有たかせさとし美容室  
（三六六）六四二〇
- ・古内 隆弘  
港町 プリンス食品株  
（三六五）六一八一
- ・古川 浩司  
貞山通 株カネヒロ  
（三六六）一一六一
- ・鈴木 有紀  
七ヶ浜町 有平蔵屋石油店  
（三五七）三六七七

## 令和八年 厄年に当る年歳

女性		男性				
36歳 平成3年生	32歳 平成7年生	18歳 平成21年生	60歳 昭和42年生	41歳 昭和61年生	24歳 平成15年生	前厄
37歳 平成2年生	33歳 平成6年生	19歳 平成20年生	61歳 昭和41年生	42歳 昭和60年生	25歳 平成14年生	本厄
38歳 平成元年生	34歳 平成5年生	20歳 平成19年生	62歳 昭和40年生	43歳 昭和59年生	26歳 平成13年生	後厄





## 名譽宮司就任祝賀会

昨年六月に就任した鎌名譽宮司・大瀧宮司の就任祝賀会が十月七日、市内尾島町のホテルグランドパレス塩釜において開催されました。

祝賀会は責任役員・総代をはじめ関係者の代表が発起人となって企画され、当日会場は一八六名の出席者で埋め尽くされました。衆議院議員の森下千里殿や塩竈市長も駆けつけ祝辞を述べ、清興では氏子青年会が木遣りを披露するなど盛会裏に終えることができました。

## 鹽竈会総会開催

全国には鹽竈の社名を冠し、御祭神や御神縁を同じくするお社のつどい、鹽竈会は十月二十七日、今年度の総会を当神社にて開催しました。

当日十六名の参加者は、正式参拝後、社務所来賓室において総会を開催。その夜は松島「ホテル新富亭」移動し酒席で懇親を深め、翌日は大崎八幡宮（仙台市）を参拝するなど研修を行いました。

なお、長年奉務神社に対し功労のあつた左記の方々へ表彰がなされました。

### 功労者表彰受賞者

福島市鎮座 塩竈神社（本田辰男宮司）

総代長 山田 達男

大崎市鎮座 塩釜神社（工藤順司宮司）

責任役員 今野 正彦



## 奉納御礼

輪島塗「屏風・卓」奉納  
多賀城市 内海 朋子 殿

奉納品は、永く当社を崇敬され平成二十三年に他界された内海ふみ子殿が愛された品で、総黒漆塗り二曲一双に沈金で鶴と松が表現された屏風と、やはり黒漆塗りの座敷卓に山水が金蒔絵で描かれています。

御遺族よりこの度奉納され、去る十一月十日に別宮拝殿にて奉納奉告祭が斎行されました。



## 銅板奉納者芳名

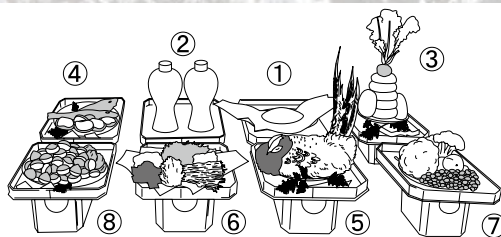
九月	奈良県	鈴木 秀樹 殿
十月	埼玉県	ほか一二八名 植松 孝幸 殿
十一月	仙台市	ほか一〇三名 四釜 健志 殿

## 嘉津良比祭

旧臘一日、鹽竈神社において「嘉津良比祭」が斎行されました。

この祭典では、凶のような特殊な神饌が御神前にお供えされます。それぞれの神饌には、イチイの葉に紙垂を結わえた「ミカツライ」が添えられる点も通常の神事と異なります。

なかでも「兜餅」は、一升の餅を七つ取りにし、これを五段に重ねた両脇に残る二つを立てかけ、頂部に赤カブをのせたもので、その名のごとく武將がかぶる兜に似た姿となります。供えられた餅は祭典後、直会でふるまわれる他、小割りにして携行すれば旅中の災難を除けるとも云い伝えられています。



- 「嘉津良比祭の神饌」
- ① 米
  - ② 酒
  - ③ 餅（兜餅）
  - ④ アワビ、ソイ
  - ⑤ キジ
  - ⑥ 海藻（海藻）
  - ⑦ 野菜
  - ⑧ 栗、つるし柿

# 新嘗祭齋行

十一月二十三日、一年の収穫を大神様に感謝する新嘗祭（産業振興大祭）が、氏子崇敬者四十名の参列を得て盛大に齋行されました。

祭典に先立ち、去る九月十三日の御神田拔穂祭で刈り取られた約一七〇kgのササニシキをはじめ清酒や蒲鉾などの地場産品の数々を満載した奉曳車を曳いて御神前にお供えする「初穂曳」も実施。大人・子供あわせて五九二名の氏子たちは、午前十時に表坂の麓を出発すると、塩竈市内を奉曳し志波彦神社大鳥居の前まで曳き上げられ、一



人ひとりの手で御両社の御神前に大切にお供えされました。

志波彦神社では祭典後、初穂曳奉仕者が埋め尽くすなか、宮司より奉仕会内形繁夫事務局長に対し曳入証が授与されました。

新嘗祭齋行に際し、多くの方々より各種産物を奉献いただきました。ここに御芳名と奉献品を御紹介します。

（品目別・順不同・敬称略）

## 新嘗祭奉献者御芳名

### 米

J A

### 献魚

みなと塩釜魚市場・塩釜魚市場問屋組合・塩釜魚市場買受人協同組合・塩釜市水産振興協議会・ウタベ魚類・ヤット八チ鈴木水産・山田水産・菊池商店・三ツ扇・渡會・塩釜水産仲間卸市場（坂本和正理事長）・竹林丸

### 清酒

阿部勘酒造・佐浦・一ノ蔵・やまや・和田電気工事・蔵出し新酒まつり・ふくむかえドットコム

### 蒲鉾・練り製品

カネコ橋沼商店・直江商店・プリンス食品・マルブン食品・水野水産・勝山水産・ヤマス蒲鉾店・松島蒲鉾本舗

### 切り身魚

大森商店・明豊・ヤマカ勝又商店・岸柳水産・三波食品・極洋食品・ぜんぎよれん食品塩釜工場・間宮商店

### 野菜・果物

塩釜地方卸売市場・北浜フード・八百照・山田宏・八百大分店

### 塩・調味料

東日本ソルト仙台営業所・アベチヨウ（醤油）

### 加工食品

阿部亀商店（ツナ）・塩釜すし業組合（寿司）・シーフーズあかま（ワカメ）・阿部善商店（おでん）・高浜（おでん）・十字屋（加工品）・蜂屋食品（餃子）・松田製粉（乾麺）

### 菓子

梅菓堂・白寿殿・海鮮せんべい塩釜・丹六園・榮太楼・サントノーレ洋菓

### 肥料

子店・土井精菓・ヤマギシ洋菓子店  
片倉コープアグリ東北支店



## 志波彦様・鹽竈様が海を渡る 海上渡御を未来へ伝えよう 御座船新造プロジェクト

ご寄付についての詳細はこちらから



### 御協力をお願い

7月第3月曜日「海の日」に齋行される「みなと祭」では、志波彦神社と鹽竈神社の2基の大神輿を御座船「龍鳳丸」「鳳凰丸」に奉安して海上渡御を行っています。

しかし、現在の御座船は、2隻とも建造から約60年以上経過して老朽化が著しく、長期的に安全な運用を行うことが困難な状態です。

塩竈みなと祭協賛会では、令和9年の第80回塩竈みなと祭でのお披露目に向けて御座船の新造計画を進めております。

つきましては、「日本三大船祭」に数えられる海上渡御を後世に敬称するため、皆様からの御寄付を賜りますようお願い申し上げます。プロジェクトと寄付の詳細はお示しのQRコードからご覧ください。

# 講社だより

十月十一日から十三日までの三日間、全国から多くの講員が参列し、講社大祭が盛大に斎行されました。

祭典後、永年継続の講員に対して表彰状と記念品が贈呈されましたので左記に御紹介致します。(敬称略)

## 令和七年度継続表彰者

◆九十年表彰◆  
相澤由起子・佐藤 民恵  
中嶋 守夫・稲辺 彰

◆七十年表彰◆  
田代 宰子・三浦 哲雄  
千葉 忠弘・松田 孝一  
大河原支部(一名)  
日下 勇

◆六十年表彰◆  
雁部 源二・八巻とき子  
大河原支部(二名)  
一條 清次・吉田 徹

◆五十年表彰◆  
佐浦 弘一・黒澤テルヨ  
佐藤 貴久・相原園  
小畑 武博・山田 茂男  
千葉 富士子  
洗心講(一名)  
明石 正三

加藤 壽治・星 博

星 兵喜・太宰 誠一  
紀野國正勝・鈴木りき子  
吉田 茂・鈴木 信也  
鈴木ついで子・鈴木 久  
鈴木 満・相沢 清昭

◆八十年表彰◆  
引地 利男  
大河原支部(三名)  
大谷 睦子・菅野 明  
遠藤 勝寿

◆四十年表彰◆  
高鷹 厚・佐藤 勝義  
福村仁一郎・早坂 笑子  
齋藤 茂・三升 彰  
武田 聖・後藤 忠男  
阿部 義正  
岩出山講(一名)  
栗生 貴之  
大槌支部(一名)  
笹谷 陽二  
大河原支部(三名)  
伊藤ふみ子・飯淵 良実  
菅野 文子

◆三十年表彰◆  
古川 孝幸・成沢 ムツ  
鎌田 博之  
岩出山講(一名)  
尾形 良次  
大槌支部(一名)  
井田 寿子

◆二十年表彰◆  
旬かなたに・高橋 佳子  
直江 清明・藤井 貴志  
東京城南会(二名)  
小野澤憲一・平賀 勝彦  
大槌支部(十七名)  
宍戸美紀子・中村 敏  
阿部 道子・川村美代子  
倉本 興・倉本 康二  
芳賀 衛・前川 晴正

岩間 讓・小野寺サヨ子

石野 幸恵・千葉 隆哉  
千葉 正幸・小林佐由美  
千葉 桂子・小國 昌宏  
阿部山健吾  
洗心講(二名)  
坪江 重光・坪江 育子

## ◆十年表彰◆

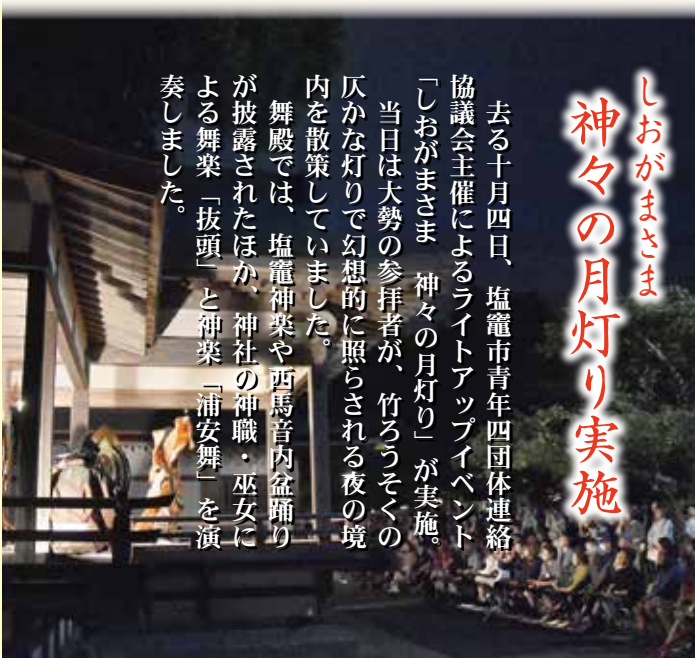
柿本 辰也・葛西さおり  
進士 毅・松田利恵子  
渡部 博文・枡 珠江  
大槌支部(十九名)

佐々木松男・佐々木勝次郎  
藤原 恵子・鳥居 誠司  
阿部 正明・岡田 太一  
武藤 千春・佐藤 勝美  
岩崎 テル・今野 栄治  
セブンイレブンかまいし片岸店  
稲垣 克昌・澤山 広  
芳賀 民雄・柳佐藤住環工業  
佐藤 邦明・玉澤 寿子  
堀合 啓二・佐々木栄子  
洗心講(四名)  
高橋 節雄・大家 正悦  
平山 次男・遠藤 志織  
大河原支部(一名)  
岡崎 勉

しおがまさま

## 神々の月灯り実施

去る十月四日、塩竈市青年四団体連絡協議会主催によるライトアップイベント「しおがまさま 神々の月灯り」が実施。当日は大勢の参拝者が、竹ろうそくの仄かな灯りで幻想的に照らされる夜の境内を散策していました。  
舞殿では、塩竈神楽や西馬音内盆踊りが披露されたほか、神社の神職・巫女による舞楽「抜頭」と神楽「浦安舞」を演奏しました。



## 菊花展

塩竈市菊祭り実行委員会(阿部かほる実行委員長)主催による菊花展が、十月二十九日より十一月十二日まで境内馬場を会場に開催され、秋の境内に彩りが添えられました。

十一月一日に行われた厳正な審査の結果、約四〇〇点の出品花のうち、十六部門・六十六点が入選し同二十四日に社務所大講堂で表彰式が行われました。  
志波彦神社鹽竈神社賞には左記の方が選ばれました。(敬称略)

### 競技花の部

星 定信(新太平の銀峰)  
七本仕立て花の部  
星 定信(精興右近)

講社大祭

# 敬神婦人講だより

仙台キリスト教育院

七五三詣受入

敬神婦人講では、社会福祉事業の一環として、昭和三十五年から毎年、仙台キリスト教育院「丘の上子どもホーム」（藤田毅園長）の子供たちを七五三詣に招待しています。

去る十一月十五日、十名の婦人講員は七五三の歳にあたる院児五名をお迎えし、鹽竈神社別宮にて七五三祈禱を行い、社務所大講堂でお祝い会を催しました。

院児たちは最初慣れない場所です緊張した様子でしたが、一緒に遊び食事などをするうち次第に打ち解け、最後は笑顔で神社を後にしました。

当社敬神婦人講では、一緒に活動いただける敬神の念ある婦人方の入講を募っています。ご希望の方は社務所へご連絡ください。

## 巫女神楽舞温習実施

当社の巫女を対象とした神楽舞の温習（おさらい稽古）を九月十八日・十九日、十一月十八日・十九日の計四日間実施しました。

講師には、山元町・八重垣神社宮司で宮城県神社庁祭祀舞講師でもある藤波祥子氏を招き、巫女たちは適格な指導のもと舞の研さんに励みました。

# ご結婚おめでとうございませす

昨年九月〜十一月までに当神社で華燭の典を挙げられた方々を御紹介します。

九月		十月		十一月	
北海道 利府町	折笠 亮介 浅沼ちづる	仙台市 仙台区	及川 真史 渡部 真史	仙台市 仙台区	白石市 白石市
大河南町 七ヶ浜町	庄司 航 片平 優菜	東松島市 多賀城市	佐藤 桃子 今野 雄太	石川県 白石市	涌谷町 山形県
石川県 利府町	笠井 健吾 柴田乃里香	山形県 門田 和也 樋口 瑞穂	喜多 直人 佐藤真奈実	岩手県 岩手沼市	名取市 名取市
岩手県 気仙沼市	高橋 英司 熊谷あかり	川島 一将 鎌田 明里	川島 一将 鎌田 明里	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	岸 亮太 岡村 映和	仙台市 仙台区	仙台市 仙台区	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	遠山 裕雅 菊地恵理子	多賀城市 多賀城市	多賀城市 多賀城市	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	一居 飛鳥 今村 みか	阿部 慎一郎 阿部 彩紀	阿部 慎一郎 阿部 彩紀	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
大府府 仙台市	菅原 孝裕 長坂 由	高橋 賢 進藤あかり	高橋 賢 進藤あかり	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
石巻市 石巻市	榊田 峻希 谷中 円香	津野里佳子 渡邊 翔太	津野里佳子 渡邊 翔太	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	群馬県 多賀城市	梶原 和正 菅野 愛	梶原 和正 菅野 愛	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	埼玉県 利府町	愛知県 東京市	愛知県 東京市	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	丸山慎太郎 鈴木 三奈	深堀 剛 石川真規子	深堀 剛 石川真規子	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	鶴岡 優李 赤間 萌恵	伊藤 悠希 尾留川万季	伊藤 悠希 尾留川万季	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	山崎 智之 熊谷香名子	湯本 勝大 丹野 まゆ	湯本 勝大 丹野 まゆ	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	相川 大寿 上野由紀子	山寺 誠也 半田 凜	山寺 誠也 半田 凜	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	中沼 大介 大木 彩椰	中沼 大介 大木 彩椰	中沼 大介 大木 彩椰	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	柳 浩平 内藤 志保	柳 浩平 内藤 志保	柳 浩平 内藤 志保	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市
仙台市 仙台区	丸山慎太郎 鈴木 三奈	伊藤 悠希 尾留川万季	伊藤 悠希 尾留川万季	岩手県 岩手沼市	岩手県 岩手沼市

（以上三十組・敬称略）

## 授与品案内

うまくいく守

今年は午年。氏子崇敬者の皆様に四十年以上にわたって親しまれている当社特製の「うまくいく御守」に、馬の飾り金具を付け、専用の袋入で奉製しました。

うまのひづめが幸運を運ぶように、皆様の願いが叶いますよう御祈念を籠めて、授与しております。

初穂料 一、〇〇〇円



## 正月限定御朱印

今回、「笑門来福」の吉祥語を表した御朱印紙。正月限定四千枚を授与致します。初詣にあわせ是非お受けください。

初穂料 五〇〇円

## 博物館だより

新春刀剣展

〽鹽竈神社の歴代藩主

奉納太刀〽

江戸時代の鹽竈神社は、仙台藩主伊達家により厚い庇護をうけました。歴代藩主により様々な寄進がなされましたが、その一つに太刀の奉納があげられます。元禄十六年（一七〇三）から天保十三年（一八四二）にかけて、四代藩主伊達綱村公以降十三代藩主伊達慶邦公に至る、八代藩主斉村公・九代藩主周宗公を除く七名の藩主によって献じられた太刀は三十九振を数え、三十

五振が現存しています。

これら藩主奉納太刀の刀身は、仙台藩に召し抱えられた八家の御刀鍛冶たちが鍛えたもので、同じく鞘師・蒔絵師・金工師などお抱えの御職人らによって製作された菊紋糸巻太刀拵が付属しています。

現存する三十五振の刀身と付属の外装は、「歴代藩主奉納糸巻太刀」として宮城県の有形文化財に指定されているほか、仙台藩祖伊達政宗公以降、歴代藩主によって育まれた豪華絢爛な文化の一端を伝えるものとして、平成二十八年に文化庁の日本遺産「政宗が育んだ「伊達」な文化」の構成文化財の一つに認定されています。

今回の新春特別展では、宮城県指定

文化財の奉納太刀およそ三十振を展示いたしますので初詣の折には是非お立ち寄り下さい。

《開催要項》

◇会期

令和八年一月一日（木）～

二十五日（日）

◇入館料

大人五〇〇円

（二十名以上団体料金四五〇円）

※高校生以下無料

◇開館時間

午前八時三十分～午後五時

（最終受付は午後四時三十分）

※会期中は休館日なし



